



弥彦中学校だより

第3号 令和5年5月23日発行

アウトメディアチャレンジで新しい発見を

校長 清水 康一

■ アウトメディアチャレンジがスタートします

5月23日から29日までの平日、テスト前の期間に合わせて、テレビやネットなどから離れてみる取組「アウトメディアチャレンジ」が実施されます。メディア利用を自己コントロールするための力を身に付けることと、心と体の健康を保つための生活習慣を整えることがねらいです。

■ メディア利用と学習時間と学力の関係について

このようなメディア利用を考える取組は全国で展開されていて、その分析や考察を公表している自治体もあります。平成25年には、仙台市が学力と家庭学習時間、スマホの利用状況の相関関係を調査していて、その結果を公表しています（仙台市 HP「仙台市標準学力検査および仙台市生活・学習状況調査」）。この調査をみると以下のことが分かります。

<平成25年度調査（中学校・数学）において>

- ・1日平均2時間以上勉強しているが、スマホ利用が平均4時間以上の生徒の成績の平均はおよそ58点
- ・1日平均30分未満しか勉強していないが、スマホ利用が平均1時間未満の生徒の成績の平均はおよそ63点

当時の仙台市のおよそ2万4千人の中学生のデータを集計した結果です。皆さんはこの結果をどのように分析するでしょうか。

■ 惰性でメディアに触れている



私が10年ほど前に勤めていた学校で、スマホ等の活用について生徒に調査をしたことがあります。生徒の記述の中では「スマホを利用している時間の半分くらいはほぼ惰性です」「無意識にメディア利用を続けています」などが多く、やめられるのであればやめて他のことをしたいと考えている生徒が8割ほどいたと記憶しています。PTAでこのことを伝えたら、保護者の方からは「子どもたちも自覚していたことが分かってよかった」と感想を漏らしていたことを覚えています。

■ アウトメディアで新しい発見を

昨年度の生徒の振り返りの中には以下のような記述がありました。

- ・メディア時間を短くしたら、朝の目覚めがよくなった。
- ・メディアの時間が減った分、家族の手伝いをしたり勉強できた。
- ・テスト勉強やギターを弾いて、メディア時間を減らしました。
- ・本を読んだりすることができた。
- ・ご飯を食べるときは（メディアを）見ないようにしていました。



健康管理や勉強時間の確保など、必要に応じてメディア利用の時間を削ることができ充実感を得たようです。そしてメディア利用の時間を減らすことで、新たな発見をした生徒がいたことがうれしいことです。視野を広げて今までできなかったことに目を向けることは大変有意義なことです。アウトメディアチャレンジの取組は年3回あります。保護者の皆様には、この機会に、お子さんとアウトメディアの効果や価値を話し合うなど、激励とご協力をいただきますようお願いいたします。

生徒総会

5月16日(火)に、今年度の生徒会の方針を決める生徒総会を開催しました。令和5年度の生徒会スローガンは「REVOLUTION～弥中革命～」です。このスローガンには、生徒会三役の公約をまとめ、全校の一人一人が意見を出しながら生徒会を創っていきたいという思いが込められています。

生徒会の諸活動やそれに関わる予算についての審議を通して、生徒会や委員会、部活動の意義を理解し、これからの中学校生活をよりよいものにしていくために、生徒たちが自発的・自治的に活動してくれることを期待しています。



中越地区大会

いよいよ地区大会、県大会、北信越大会、全国大会へと続く各運動部の地区大会が始まります。3年生にとって中学校生活の集大成となるこの大会は、胸に期するものがあると思います。生徒たちの頑張りに、応援をよろしくお願いします。大会会場など詳細につきましては部活動顧問から配布される計画をご確認ください。

日	部活名	日	部活名
6/13・14	陸上競技	6/13・14・21	野球部
6/13・14・21	バスケットボール	6/13・21・24	バレーボール
6/9・14・15	男子ソフトテニス	6/20・21・24	卓球部
6/9・14・15	女子ソフトテニス		

6月の主な行事予定

6(火)地区大会激励会、授業参観
8(木)3年生進路説明会、専門委員会
9(金)～地区大会
13(火)14(水)4時間授業(給食なし)

16(金)生徒朝会(体育祭抽選)
26(月)地区大会報告会
28(水)小中連携・一貫教育協議会研修会
30(金)全校朝会

